

福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和7年11月25日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉文教常任委員長 外 山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 第8回常任委員会

令和7年11月25日（火）10時から15時30分まで

(2) 第10回常任委員会協議会

令和7年11月25日（火）15時30分から16時30分まで

2 開催場所

委員会室4

3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、伊勢委員

4 欠席委員

貞宗委員

5 委員外

なし

6 調査事件及び協議結果

(1) 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について（教育委員会）

・・・調査継続

ア 調査結果

○別海高等学校の寄宿舍について

- ・寄宿舍の経営者との話し合いで、使用期間が当初の契約どおり令和10年3月末で終了することが確認された。その後については、現寄宿舍を行政が借り上げて継続使用していく考えも示された。残り2年間余りで検討を進める予定である。
- ・建物の耐震検査なども、今後実施しなければならない。

- ・寄宿舎は、今後の別海高等学校の生徒維持に向けて、必要不可欠な施設である。
- ・中標津高等学校へ進学する生徒も多くいる。中標津高等学校を上回る別海高等学校の魅力向上が大切になる。
- ・教育委員会では、金銭面で多くの支援をしているところであるが、生徒が通いたくなるような、魅力づくりに活かされる支援に力を注いでいただきたい。
- ・海外研修に普通科の生徒も行けるようになると、魅力の1つになるのではないか。（行政視察に行った湧別町では、湧別高等学校において、3か月間の長期の海外研修が実施されていた）
- ・各中学校での進路説明会における別海高等学校の良さや魅力の伝え方にも工夫が大切だと考えるが、校長先生も訪問して、直接生徒たちに魅力を伝えていることは良いことである。
- ・酪農科への入学希望者が減少していることは大きな問題である。酪農科目としての魅力や、後継者として役立つ授業内容が求められる。現在は、牛もいなく、隣町の中標津農業高等学校を上回る魅力化が必要である。
- ・別海高等学校では、生徒指導の問題も特に無いようであり、生徒が安心して別海高校に通えているとのことから、その点は継続していただきたい。

（２）町立別海病院の運営について（別海病院）・・・調査継続

ア 調査結果

- ・町立別海病院経営強化プラン（２０２４年３月作成）は、同年３月に医師３名が退職（１名は会計年度職員として再任用）したため、４月のスタートからプラン通りの経営ができていなかったが、今回、ようやく「町立別海病院経営改善検討委員会」のメンバーが決まり、１２月に第１回委員会を開催する運びとなった。
- ・今後の町立別海病院の状況に応じたプランの改定が行われ、町からの繰入金金の減少につながる事が望まれる。

（３）子ども・子育て支援について（保健生活部）・・・調査継続

ア 調査結果

○こども家庭センターの利用状況について

- ・令和７年４月からスタートし、地域包括支援センターと同じように、すべての子供とその家庭・妊産婦に切れ目なく支援を提供している状況の一部が把握ができた。
- ・設立の目的として教育委員会や福祉部、母子センターなどと連携をしながら、「こども家庭センター」が統一的な窓口となり、利用者の負担を減らすなど、効率的に動いているか、今後も調査をしていく。
- ・個々の家庭の課題やニーズに合わせて多様なサービスや支援内容を行うための「サポートプラン」を立案しているそうである。介護保険サービスのケアサポートプラン（介護サービス計画）と同じような計画でサポートプランの作成は無料であるとのこと。

(4) ごみ処理の状況について（保健生活部）・・・調査継続

ア 調査結果

○ごみ処理手数料について

- ・ 条例改正前に住民説明会を実施すべきと指摘したが、その場では担当の考えは変わらなかった。
- ・ ごみ袋の値上げ額については妥当だと思うが、条例改正前に住民への説明会を実施すべきと考える。当委員会の考えを取り入れ、住民説明後の料金改定としていただきたい。

7 その他

(1) 12月（休会中）の調査内容確認について

教育委員会 ①青少年の居場所づくりに関する基本方針について

②小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について
のうち、小中義務教育学校について（1月の調査に変更）

別海病院 ①町立別海病院の運営について

保健生活部 ①児童遊園地遊具等整備事業について

②任意予防接種助成事業について

福祉部 ①ケアハウス整備事業について